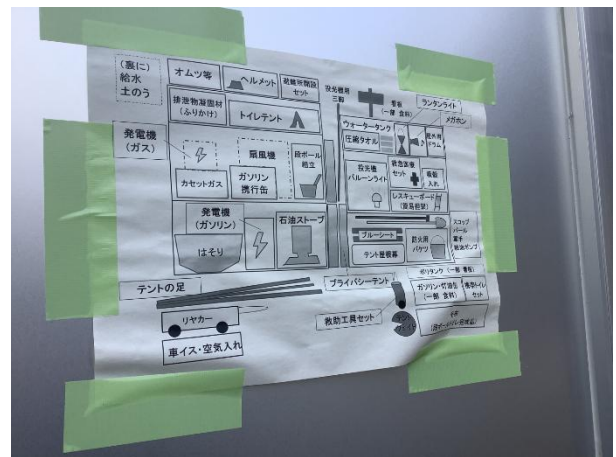


【4年生】 自分の命を守るために 社会科



4年生は社会科で「風水害からくらしを守る」という学習をしています。今回、瑞穂市役所市民協働安全課の所様をお招きし、瑞穂市の防災についてお話を聞きました。最初に瑞穂市のホームページでハザードマップを確認し、**「自助」「共助」「公助」**について学びました。

また、瑞穂市は河川が多いので、上流の気象も確認をすること、「危ない」と思ったら避難情報が出ていなくても逃げる判断をすることなども教えていただきました。

その後、体育館そばにある防災倉庫を見学し、疑問に思ったことを質問しました。粉ミルク、圧縮タオル、ガソリン、段ボールトイレなど様々なものがあることを知りました。しかし、「公助だけでは、全員を助けたり快適な避難所生活を送ったりすることはできない。だから、**自分の命は自分で守るために何が必要かを考え、自分でその準備が必要。**」とおっしゃっていたのが、心に残りました。

この出前授業をきっかけに、ご家庭でも防災について話題にしていただけるとありがたいです。